



『第32回 東京校歌祭』報告

校歌祭担当 木名瀬 伸博 (32期)

夏の暑さも収まり、天気にも恵まれた10月の第4日曜日「第32回東京校歌祭」が、馴染みの杉並公会堂大ホールで開催されました。今回は同窓会交流の場として東京校歌祭後の盛大な懇親会も企画されました。参加団体は、戸山高校には声を掛けましたが今年も不参加とのことでしたが足立西高校が加わり前回より1校増え、19校、19団体が参加しました。今年も本校の出番は早く、前半の13時30分からのステージでした。残念だったのは、芦花高校にも参加をお願いしましたが、別の演奏会前のため参加が叶いませんでした。

東京校歌祭は、12時15分開会式のためプラカードがステージに並び、杉本会長の挨拶、清澤実行委員長の開会宣言で開演しました。まず、小山台高校のブラスバンドによる開会のファンファーレ演奏され、その後小山台の校歌・校友歌が披露されました。つづいて西、三商、石神井、竹早、両国、千歳、小松川、足立西の順に各校が歌い前半を終えました。

初参加の足立西は、10人に満たない参加人数でしたが元気に歌い上げていました。



休憩では恒例の合唱はなく、来賓挨拶もありませんでした。

後半ステージは文京から始まり、新宿、武蔵丘、墨田川、江北、豊多摩、白鷗、一商、立川、そして最後がブラスバンド演奏の九段高校で校歌の披露を終え、最後に全員で「揚げば尊し」を斉唱し校歌祭は終了しました。

今年は、会場に来場の観客が増え、盛り上がってきました。

今年の千歳高校・誠之会は本会だけの参加で、総勢11名で、「健児の歌、千歳高校校歌、ちいさい秋みつけた」を、校歌とともに季節に合わせ秋の歌を歌いました。今年も指揮は、廣瀬泰文さん(32期)、ピアノ伴奏も小鹿 紡さんをお願いしました。当日以外の歌の練習ができませんでしたが、少人数での熱唱は大変好評でした。

校歌祭終了後は、懇親会までの時間が長く、三々五々解散となりました。

今年度も東京校歌祭の舞台・進行の担当責任者は千歳でとのことで、私が務めました。そのため、皆様のへのお世話が行き届かず申し訳ありませんでした。お陰様で、進行は順調に進められました。ご参加いただいた皆様、大変お疲れさまでした。有り難うございました。

追記：2025年の「第33回東京校歌祭」は、10月26日(日)杉並公会堂で開催されます。

より多くの皆様のご参加を期待しています。詳細はホームページに掲載します。